

事前評価調書

I 事業概要																																
事業名	交通安全対策事業（歩道及び自転車歩行者道設置事業）																															
地区名	一般県道 <small>なごやいぬやま</small> 名古屋犬山線																															
事業箇所	<small>こまきしきたとやま</small> 小牧市北外山地内																															
事業のあらまし	一般県道名古屋犬山線は、名古屋市から春日井市、小牧市を経由して犬山市へ至る道路である。当該区間は小牧市南部に位置し、北外山交差点の南側部分であるが、交通量が多く、部分的に歩道が狭くなっているため、歩行者が危険にさらされている。このような状況を解消するため、歩道を拡幅し歩行者の安全性向上を図る。																															
事業目標	【達成（主要）目標】 歩道拡幅による歩行者の安全性向上 【副次目標】 （必要に応じて記載する） -																															
事業費	事業費	内訳																														
	0.7億円	□工事費0.1億円、□用補費0.5億円、□その他0.1億円																														
事業期間	採択予定年度	2024年度	着工予定年度	2025年度	完成予定年度	2025年度																										
事業内容	歩道拡幅 延長L=0.01km、幅員W=11.3m 2車線																															
II 評価																																
①事業の必要性	1) 必要性	当該区間は小牧市南部に位置し、北外山交差点の南側部分であるが、交通量が多く、部分的に歩道が狭くなっているため、歩行者が危険にさらされている。歩道を拡幅することで歩行者の安全性向上が見込まれる。																														
	判定	A	A： 現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。 B： 現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。																													
		【理由】 安全・円滑な交通に支障をきたしており、事業の必要性があるため。																														
②事業の実効性	1) 事業計画	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr style="background-color: #00aaff; color: white;"> <th colspan="2"></th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; font-weight: bold;">工種区分</td> <td>調査・設計</td> <td>↔</td> <td></td> <td rowspan="5" style="border: none;">/</td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td>↔</td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td>↔</td> </tr> <tr> <td>・土工</td> <td></td> <td>↔</td> </tr> <tr> <td>・舗装工</td> <td></td> <td>↔</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="font-weight: bold;">事業費（億円）</td> <td>0.7</td> <td></td> <td>0.7</td> </tr> </tbody> </table>						2024	2025	合計	工種区分	調査・設計	↔		/	用地補償	↔		工事		↔	・土工		↔	・舗装工		↔	事業費（億円）		0.7		0.7
			2024	2025	合計																											
	工種区分	調査・設計	↔		/																											
		用地補償	↔																													
工事			↔																													
・土工			↔																													
・舗装工		↔																														
事業費（億円）		0.7		0.7																												
2) 地元の合意形成	地元からの要望も強く、合意形成がなされている。																															
判定	A	A： 事業計画の実効性が期待できる。 B： 事業計画の実効性が期待できない。																														
		【理由】 地元の合意形成がなされており、計画の実効性が期待できるため。																														

Ⅲ 対応方針	
事業実施が 妥当である。	事業実施が妥当である。：上記①及び②の評価ですべてA判定であるもの。 事業実施は妥当でない。：上記以外のもの。
Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容	
<p>■対象（事業完了後5年目） <input type="checkbox"/>対象外</p> <p>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>—</p> <p>【主な評価内容】</p> <p>安全性の改善状況-</p>	